

お申込みはこちら



京都大学経営管理大学院
Graduate School of Management, Kyoto University



京都大学情報学ビジネス実践講座
新歓オープンイベント

情報こそが ビジネスを制する

～ITと企業のこれからの“生の声”を知る

2024年

4月11日(木) 17:00～18:45

京都大学時計台記念館 1階

百周年記念ホール

入場無料

京都大学の全学生、教職員対象

第一部

記念講演

「AI・デジタル時代は
大学を使いこなす人が
生き残る」



iU学長 中村 伊知哉 氏

第二部

パネルディスカッション

～企業の“生の声”を聴く

本講座に協力する企業6社がIT実践のリアルを語る

(登壇予定)

ANA・ANAシステムズ、NTTデータグループ、DMG森精機、東京海上日動火災保険・
東京海上日動システムズ、三井住友フィナンシャルグループ・日本総合研究所、日本電気



Orchestrating a brighter world



CONTENTS

これからの20年に、社会や経済をどう変えるのか、企業や人の働き方をどう変えるのか。ITの先端を見続けてきた研究者が語る未来展望に加え、企業が取り組むDX(デジタルトランスフォーメーション)の生の声を聴く機会です。

卒業後の進路や研究を考えるきっかけとして、また大学と企業との接点の実相を知る機会として、「ITと経営」に関心を持つ多くの学生の参加をお待ちしています!

17:00

開会

第一部 記念講演「AI・デジタル時代は大学を使いこなす人が生き残る」

MITメディアラボ客員教授やスタンフォード日本センター研究所長を歴任されたご経験から、これからのIT・デジタルと企業、働く人の姿の未来を学ぶ!

中村 伊知哉 (なかむら いちや) | iU学長

<http://www.ichiya.org/>

京都大学特任教授、東京大学研究員、慶應義塾大学特別招聘教授、デジタル政策財団理事長、CiP協議会理事長、国際公共経済学会会長、日本eスポーツ連合特別顧問、大阪・関西万博2025 事業化支援PTプロジェクトリーダー、理化学研究所コーディネーターなどを兼務。1984年、ロックバンド「少年ナイフ」のディレクターを経て郵政省入省。MITメディアラボ客員教授、スタンフォード日本センター研究所長、慶應義塾大学教授を経て、2020年4月よりiU学長。内閣官房、内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省などの参与・委員を歴任。著書に『新版 超ヒマ社会をつくる—アフターコロナはネコの時代—』(ヨシモトブックス)、『コンテンツと国家戦略』(角川Epub選書)など多数。1961年生まれ。京都大学経済学部卒、大阪大学博士課程単位取得退学。博士(政策・メディア)。

17:55

第二部 パネルディスカッション ~企業の“生の声”を聴く

中堅世代として企業で活躍する人の視点から、ほかでは聞けない企業におけるDXの実際の姿を聞き、企業戦略のこれからを考える。

皆さんが就職したあとにDXに関わることになったときの、働き方を考える役に立つこと間違いなし!

18:45

閉会予定

情報学ビジネス実践講座とは

京都大学と協力企業(ANA・ANAシステムズ、NTTデータグループ、DMG森精機、東京海上日動火災保険・東京海上日動システムズ、三井住友フィナンシャルグループ・日本総合研究所、日本電気)が、デジタル時代の社会で活躍するために、ITとそのビジネスへの活用を実践的に学べる場を提供することを目的に設立した産学共同講座。

これからの生きる学生の皆さんの実践的な学びにつながるよう、協力企業各社とともに授業科目を展開しています。

従来のIT教育 (IT部門向け)

- ・ アルゴリズム、データ構造などの理論が中心
- ・ 演習科目はプログラミングやデータ解析の基礎を提供



産業界が求める追加内容 (企画・事業部門向け)

- ・ 社会や産業界でITがどのように活用されているか
- ・ 業務要件に基づいてシステムを設計する流れ、プロジェクト管理、思考法等

=大学の共通カリキュラムに求められるITリテラシー教育

詳細/お問い合わせはコチラ

情報学ビジネス実践講座 事務局

✉ PIB@gsm.kyoto-u.ac.jp

🌐 <https://www.project.gsm.kyoto-u.ac.jp/pib/>

